

agriculture
communication
magazine

no.94

3月
2015

ば

JA赤城たちばな

<http://www.jaat.net/>

特集

合併15周年
記念旅行を開催

●Contents／目次

- 當農インフォメーション
- 女性のページ
- 農業指導センター情報
- 食のはなし
- お知らせコーナー
- 読者のコーナー

2月は花桃出荷の最盛期。共同ハウスの生産者らは、ふかし作業に精を出していました。
(詳しくは16ページに掲載)

合併15周年記念旅行を満喫

新潟の温泉・観光を満喫

JA赤城たちばな



飛び入りの踊りに大喝采
自慢の歌声で場を盛り上げます



見事品が当たりました



平成11年3月1日に合併した当JAは、昨年15周年を迎えた。これを記念し、また組合員の皆様に日頃の感謝を込めて、12月16日～17日に募集旅行を開きました。110人の大勢の方に参加いただき、新潟の温泉や雪景色、料理を満喫しました。

1日目の観光は、阿賀野川のライン下りと瓢湖での白鳥の餌付けの見学です。ライン下りでは船内から雪景色を眺めながら、船頭の巧みな語りや歌声を楽しみました。

瓢湖は白鳥の飛来地として有名です。みぞれの中、餌やりを体験したり、餌付けを見学したりしました。

宿泊先は月岡温泉の「白玉の湯華鳳」です。温泉は硫黄泉で、美肌効果があります。広々とした温泉やホテルスタッフの温か

いおもてなしで、参加者はくつろいだ様子でした。

夕食は新潟の海の幸を堪能しながら、カラオケや記念品が当たる抽選会で盛り上がりました。

2日目は、水族館「マリンピア日本海」で展示物やイルカショーを鑑賞。その後寺泊中央水産や県央地場産センターに立ち寄り、年末年始用の海産物や干物、燕三条地域特産の洋食器や刃物を買い求めました。

角田組合長は

「合併の記念行事として、初めて募集旅行が開催できました。今後も実



ガイドさんの話で盛り上がる船内





1号車の皆さん



2号車の皆さん



3号車の皆さん

水槽内は色とりどりな魚でいっぱい



J.A赤城たちばな

餌に集まる瓢湖の白鳥やカモ



店内は海産物を求める客で大賑わい



平成27年3月／no.94

宮農赤城たちばなインフォメーション



真剣に説明を聞く参加者

J A 赤城たちばな青色申告会
税務研修会を開きました。会員
やJ A の役職員ら43人が参加。
講師にJ A 群馬中央会の村田さ
んを迎え、昨年2月の雪害に係
る税務上の対応について説明を
受けました。

今年度の所得税の申告は、雪
害による見舞金や助成金、農業
共済金の受け入れの対応で、通
常の申告に比べ注意が必要にな
ります。見舞金の取り扱いは、
農業施設の倒壊等に対するもの
か、生活に関わるものか、農業
共済金は、施設内の農作物に対
するものか、農業施設に対する
ものかによって処理方法が変わ
るそうです。

消費税についても、雪害に係
る注意事項のほか、簡易課税と
一般課税の選択などについても
説明を受けました。

参加者たちは、熱心にメモを
取りながら講師の話に耳を傾け
ていました。

村田講師による丁寧な説明



状況報告する狩野里吉さん

県技術支援課の渡辺主幹が講
師となり、剪定(せんてい)方法
を実技を交えながら説明しまし
た。「剪定することで、日当たり
や収穫などの作業性を高められ
ると、樹の特徴を見極めながら
剪定や枝の誘引をするようア
ドバイスしました。

その後、しきしま支所へ移動
し、渡辺主幹から生産安定対策
について、中部農業事務所の狩
野里吉さん

整枝剪定作業を見つめる参加者

員12人で、約120ヘクタール栽培して
います。主に観光向けで、直売
所などにも出荷しています。
赤城町さくらんぼ研究会は会
員12人で、約120ヘクタール栽培して
います。主に観光向けで、直売
所などにも出荷しています。
野係長から病害虫防除対策につ
いて説明。利根沼田農業事務所
の岡本技師がコスカシバの防除
対策について、実証結果を発表
しました。



ミートフェスタ 管内農家に優秀賞



第22回ぐんまふれあいミートフェスタ群馬県枝肉共励会が県食肉卸売市場で開かれました。県内産の食肉の品質向上を目指し毎年開かれています。

肉牛の部は昨年12月1日に開かれ、県内から120頭(交雑種65頭、和牛55頭)が出品されました。審査員による厳正な審査の結果、交雑種の部で赤城町長井小川田の茂木規久さんが優秀賞の1席を受賞しました。

表彰を受ける茂木さん



管内から赤城町宮田の津久井重雄さんが優秀賞の1席を受賞しました。

これらの授賞は、日々飼養管理を徹底し、更なる品質の向上を目指し生産に取り組んでいるたまものです。管内の畜産農家の牽引役として、今後のご活躍を期待しています。



管内からは生しいたけ部門に15点を出品。うち金賞8点、銀賞2点、銅賞3点と素晴らしい成績を収めました。中でも森田かよ子さんが出品した原木栽培のシイタケが、最高賞の県知事賞と特別賞の農林水産大臣賞を受賞しました。

県知事賞に輝いた生シイタケ

肉豚の部は2月5日に開かれ、県内から242頭が出品されました。豚の審査は雌と去勢各1頭を1組として、定められた採点方法により求められた総合得点で審査されます。審査の結果、管内から赤城町宮田の津久井重雄さんが優秀賞の1席を受賞しました。

頭を1組として、定められた採点方法により求められた総合得点で審査されます。審査の結果、管内から赤城町宮田の津久井重雄さんが優秀賞の1席を受賞しました。

県きのこ品評会 管内産シイタケが最高賞



第18回群馬県きのこ品評会(県・JA全農ぐんま・県きのこ振興協議会主催)が1月27日、28日、県庁で開かれました。県内から生しいたけ部門145点、またけ部門57点、なめこ部門26点など計252点の出品がありました。

管内からは生しいたけ部門に15点を出品。うち金賞8点、銀賞2点、銅賞3点と素晴らしい成績を収めました。中でも森田かよ子さんが出品した原木栽培のシイタケが、最高賞の県知事賞と特別賞の農林水産大臣賞を受賞しました。

表彰を受ける森田さん

管内からは生しいたけ部門に15点を出品。うち金賞8点、銀賞2点、銅賞3点と素晴らしい成績を収めました。中でも森田かよ子さんが出品した原木栽培のシイタケが、最高賞の県知事賞と特別賞の農林水産大臣賞を受賞しました。

同振興協議会の富田会長は、「さつで、「東京電力福島第一原発事故の影響で、原木シイタケ栽培は、まだ木の確保や放射性セシウムの対応とつらい時期を送ってきた。きのこ王国・群馬県を復活させ、さらに発展することを期待している」と激励しました。審査報告では「どのシイタケも鮮度が良く、肉厚で形状も良い。栽培管理の技術の高さがうかがわれる」と品質の良さが高く評価されました。

なお、金賞を受賞した方々は、13ページで紹介しています。

woman voice

女性 ページ



**女性部が手芸教室
ストラップと手帳カバー**

J A女性部は2月6日、本所で手芸教室を開きました。作品は、ストラップと手帳カバー。赤城女性部会計の鳥山孝子さんが講師になり、部員ら16人が指導を受けました。



部員らは約3時間かけて、2つの作品を仕上げました。かわいらしいストラップと実用的な手帳の完成に部員らは満足の表情でした。

丁寧に仕上げる部員ら

手帳カバーは、針や糸を使わず、布を接着剤で貼るだけ。好きな布で手軽に出来上がります。女性部員が持っているJA女性手帳用として作りました。



部員らは、「ナップキンの柄や丼の形で表情が変わる。個性豊かなお菓子入れができる」、「どんなお菓子を入れようかな」と完成を待ち遠しそうに話していました。

A KAGIグリーンアメニティは2月17日、赤城営農経済センターで手芸講習会を開きました。津久田の宮下昌子さんが講師になり、18人の部員らはお

菓子入れを作りました。

アメニティが手芸講習 粘土で作るお菓子入れ



和気あいあいと作成する部員ら

部員らは、約1時間でここまでの工程を終えました。この後は約1週間、丼に入れた状態で乾燥させます。乾いたらラッカーニス)を塗り、耐久性を持たせ、表面につやを出します。

部員らは「ナップキンの柄や丼の形で表情が変わる。個性豊かなお菓子入れができる」、「どんなお菓子を入れようかな」と完成を待ち遠しそうに話していました。

北橘女性部 上箱田地区の歴史を学ぶ

J A 北橘女性部は1月30日、上箱田の「蕎麦処めんこい」で勉強会を開きました。

上箱田では、地区の歴史を後世に語り継ごうと平成24年に「上箱田かるた」を作りました。

かるたには、先人が残した偉業や文化、史跡などが描かれていて、育成会や生涯学習をする会などで活用されています。

この上箱田かるたを教材に部員ら12人は、元北橘村長の石田利治さんから上箱田の歴史について説明を受けました。

熱心に話を聞いた部員らは、石田さんのふるさとに対する熱

次世代に語り継ぐ「上箱田かるた」

ミニディサービス 遊びに来ませんか!

とき	地区名
3月17日	赤城町南雲第二
3月25日	北橘町分郷八崎
3月27日	赤城町南雲第三
3月31日	赤城町宮田
4月 9日	赤城町みやま
4月14日	北橘町八崎第三
4月16日	北橘町八崎舟戸
4月21日	赤城町棚下
4月24日	北橘町八崎第二
4月28日	赤城町栄
4月30日	赤城町三原田団地
5月 8日	北橘町真壁上
5月12日	赤城町持柏木
5月14日	北橘町真壁東

午前10時より
各地区集会場で開かれます



こんにゃくを料理する参加者



石田さんの話を興味深く聞く部員ら

地元農業への理解とこんにゃくの利用拡大を図ろうと、渋川広域農村女性ネットワークや渋川地区こんにゃく研究会ら関係者36人が参加。こんにゃく料理を試食し、コンニャクについて学習しました。

今まで以上にこの地を誇りに思う」と話していました。上箱田地区では自治会を中心にお、史跡などを訪ね歩くウォーキングも開催しているそうです。

同ネットワーク会員が、「渋川すいとん」や「紫芋入りこんにゃくゼリー」など4品を作りました。渋川すいとんは、小麦粉の生地にミキサーで液状にしたこんにゃくを練り込んでいるのが特徴です。市の飯塚農政部長は「こんにゃくの新しい食べ方を提案することは、消費拡大や地域農業の活性化につながる」と期待を込めます。

試食後は、指導センターの高川主幹が、コンニャクの歴史や品種の特性について講演しました。

生玉で作るこんにゃくは、ヘルシーな上に美肌効果があるそうです。こんにゃくの良さを再確認できた講習会となりました。

こんなにやく料理を提案 消費拡大や活性化目指す

こんにゃく料理伝達講習会(県催)が1月29日、金島ふれあいセンター(渋川市金井)で開かれました。



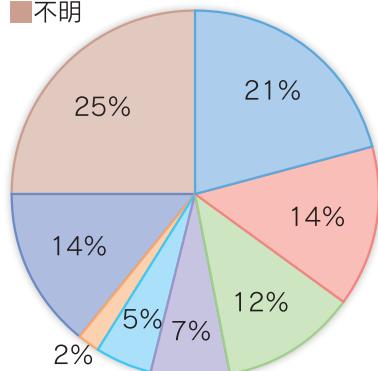
芋の特性を丁寧に説明

農業指導情報

このような問題が起きると、消費者の信頼回復には時間がかかり、一人の過ちが地域全体に影響を及ぼします。改めて農薬の使用方法を見直し、「農薬使用基準」を遵守しましょう。

図：農薬残留基準値超過の原因

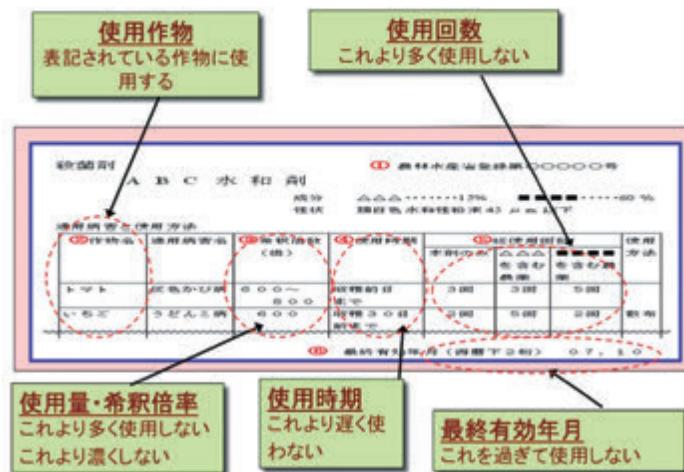
- 適用外使用（無登録農薬）
- 使用基準違反（時期、回数、方法）
- 農薬散布機・ホースの洗浄不足
- 周辺ほ場からのドリフト
- 過去使用農薬の土壌残留
- 長靴等への付着農薬や土壤が収穫物に接触
- 調査中
- 不明



2005～2009年日本GAP協会調べ
出典：「JGAP実務者のための導入ガイドブック」

図：登録内容の読み方

★最新の登録内容を厳守する



これから春の農作業が本格的に始まります。病害虫の発生も増えてくる時期で、ほ場周辺の雑草はアブラムシ類やカメムシ類等、病害虫の温床となります。まずはほ場周辺の衛生管理を徹底することが重要です。農薬を使用する場合には、登録内容を遵守し適正に使

農薬適正使用

中部農業事務所
渋川地区農業指導センター

1 農薬残留基準値超過の原因

近年、食の安全や環境問題等への社会的関心が高まっており、農薬の安全かつ適正な使用が強く求められています。このため、農薬の使用と管理については、生産者の大きな責任が求められています。食品衛生法に基づく国内の農産物の残留基準値超過は、毎年発生しています。

2 「農薬使用基準」って何？

農薬の使用については作物毎に、人間が摂取した際に人体に影響のないレベルで、各農薬の使用回数や使用量が決められており、それが「農薬使用基準」です。

- (1) 定められた「適用作物」以外には使用しない。
- (2) 定められた使用量または濃度を超えて使用しない。
- (3) 使用時期を守る。
- (4) 農薬および農薬に含まれる有効成分毎の総使用回数を超えて使用しない（種苗での使用回数も含める）。

4 農薬使用時の注意事項

- (1) 散布時の風向きに注意し風のは使用しない。
- (2) 農薬を散布する時はマスク、手袋等の防護装備を着用する。
- (3) 防除器具は使う前に必ず点検・整備を行う。
- (4) 農薬を散布する時はマスク、手袋等の防護装備を着用する。
- (5) 防除器具は使う前に必ず点検・整備を行う。

5 農薬使用後の確認事項

- (1) 農薬散布に使ったタンクやホース内の洗浄を行う。
- (2) 農薬は鍵のかかる保管庫で管理する。
- (3) 農薬を使用した年月日、使用した場所、使用した作物、使用した農薬の名称、使用量または希釈倍率等をしつかり記録に残し保管する。
- (4) 農薬のついた衣類や長靴のままで作物を扱わないよう注意する。

3 農薬使用前の確認事項

- (1) 最新の登録内容と使用上の注意事項を必ず確認する。
- (2) 農薬は登録のある農薬を必要な量だけ購入する。
- (3) 最終有効期限の過ぎた農薬（産業廃棄物）は使わない。
- (4) 農薬を散布する時はマスク、手袋等の防護装備を着用する。
- (5) 防除器具は使う前に必ず点検・整備を行う。
- (6) 散布圧力を上げすぎない。
- (7) 遮蔽シートやネットを利用する。

弱い朝や夕方に散布する。
作物に近づけて散布する。

- (2) ほ場の端では道路や隣接ほ場に注意して外から内に向けて散布する。
- (3) 近接栽培作物の種類や収穫日を十分に考慮する。
- (4) 散布圧力を上げすぎない。
- (5) 近接栽培作物の種類や収穫日を十分に考慮する。
- (6) ドリフト低減ノズルを使用する。
- (7) 遮蔽シートやネットを利用する。

食の はなし

ベターホームのお料理教室

ウド

ウドは、春の訪れを告げる野菜で、古くから山菜の一つとして親しまれてきました。ほのかな甘味と苦味、しゃきしゃきとした食感が味わえます。

江戸時代から栽培され、

地下の室(むろ)で光を当てず、白く育てる「軟化ウド」と、日光に当てて軟白せず、緑色に育てた露地物の「山ウド(緑化ウド)」があります。主に出回っているのは、「軟化ウド」です。

ウドの成分は94%が水分ですが、血圧を正常に保つ働きのあるカリウムが含まれています。

生のまま、またはさつとゆでて、あえ物や酢の物、サラダにすると、香りと歯触りが楽しめます。その他、天ぷら、煮物、炒め物、汁物の実にもします。

料理するときは、皮には産毛があり、纖維が堅く、あくが強いので、皮を厚く

むくのがポイント。また、空気に触れると茶色くなるので、水にさらします。含め煮やあえ物など、白く仕上げる料理の場合は、皮をむいて、切つたらすぐに酢水に5~6分漬けましょう。

ウドはほとんど捨てる部分がなく、穂先、茎、皮と全て使えます。堅い茎やむいた皮は、細く切つてあく抜きをし、きんぴらになると、無駄なくおいしく食べられます。

選ぶときは、太くて縊がしつかりしているものを。保存するときは、光に当てるなど硬くなるので、新聞紙に包んで、涼しい所に置きましょう。切ったものは切り口をラップで包み、ポリ袋に入れ、野菜室に入れます。

しゃきしゃきとした食感が特徴です

● Recipe

ウド巻き焼き肉

■材料(2人分)

ウド	100g
長ネギ	10cm
牛もも肉(焼き肉用)	200g
A	
ニンニク(すりおろし)	1片
しょうゆ	大さじ1
酒	大さじ1/2
砂糖	小さじ1
サラダ油	小さじ1
〈たれ〉	
コチュジャン	小さじ1
しょうゆ	小さじ1/2

■作り方(1人分262kcal)

- (1) ボウルにAの材料を混ぜ、牛肉を漬けて約5分置きます。
- (2) ウドは5cm長さに切り、皮を厚めにむいて、3~4mm角の棒状に切れます。酢水(水カップ1に酢小さじ1※材料外)にさらします。
- (3) ネギは5cm長さの細切りにします。
- (4) フライパンに油を熱し、肉の両面を強火で焼きます。
- (5) ウドの水気をよく切り、ネギと一緒に肉で巻きます。
- (6) たれの材料を合わせ、肉に添えます。



調理時間
15分

撮影：大井一範



活発な意見が出された新春懇話会

J Aは1月15日、本所で生産者組織などの代表者と新春懇話会を開きました。意見や要望を交換しようと、生産者やJ A役員ら34人が参加しました。初めに企画管理部、営農経済部、金融共済部の各部長が、事業実績や農協自己改革、雪害からの再建状況や豪雪対策資金の状況などを報告しました。

意見交換では参加者から、職員の計画的な人員配置や農業設備の充実、後継者不足を解消するため、独身農業者への婚活のサポートなど質問や意見が上がりました。

今井常務理事は「地域農業を発展させるためにも、J A職員の人材育成や設備投資などに積極的に取り組む。またJ Aグループが一体となり農協自己改革に取り組みたい」と話しました。

須田副組合長はあいさつで「役職員一丸となり、組合員から信頼されるJAづくりに努力する」と力強く語りました。

●平成27年度 JA赤城たちはな農事支部長会

北橘支所農事支部長会

真壁上	◎萩原勝吉	小室	井上正吉
真壁東	奈良 償	下小室	萩原洋司
真壁美保	小池芳行	分郷八崎	岩田啓司
真壁坂東	柴崎千秋	八崎第三	○堀口安夫
下箱田	高橋充夫	八崎谷津	関口 裕
箱田	○富岡正徳	八崎角谷戸	阿部 等
上箱田	奈良里志	八崎舟戸	梅沢利行
上南室	町田 清	硯石	萩原 一
下南室	下田敏雄		

横野支所農事支部長会

持柏木	市川優一	滝沢	佐藤一雄
溝呂木第1	◎新井和美	上三原田	永井惠彌男
溝呂木第2	木暮武男	三原田	荒井希芳
溝呂木第3	木暮右一	樽	富永 誠
北上野	○齋藤義行	宮田	星野幸雄
勝保沢	○角田悦寿	栄	下田寿久
見立	望月 操		

しきしま支所農事支部長会

1区	角田修一	6区	角田行広
2区	◎狩野寿作	7区	○茂木忠彦
3区	狩野民雄	8区	石田初男
4区	狩野 寛	9区	須田勝美
5区	狩野清隆	10区	○岩崎雅信

◎会長 ○副会長



新体制となつた北橘農事支部長会議

JAの基盤組織である農事支の方々です。（敬称略）
平成27年度の農事支部長は次
た。

部が2月から新年度を迎える5
日に北橘支所、6日に横野支所、
初の農事支部長会議が行われ、
平成27年度がスタートしました。

農事支部長初会議 平成27年度がスタート

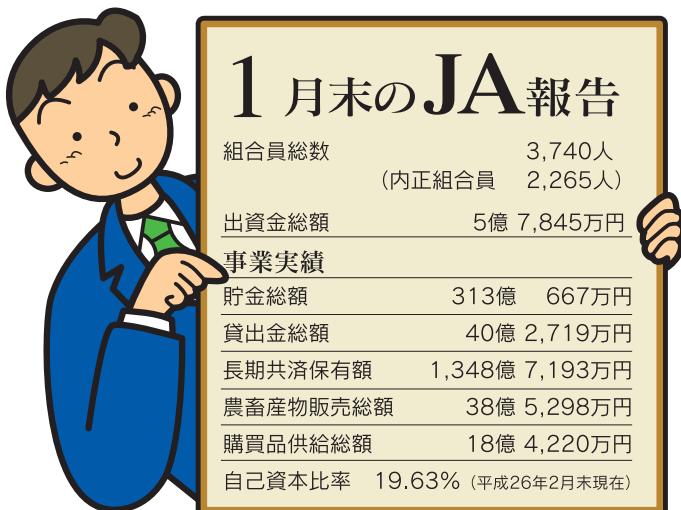
休日・夜間 緊急連絡先

●通帳、キャッシュカードの盗難、紛失
JAバンク事故受付センター
TEL.027-220-2106

●交通事故(=自動車共済の事故受付)
交通事故夜間・休日事故受付センター
0120-258931

●ガス切れ・故障
LPガス緊急連絡先 **TEL.027-268-3210**

●葬祭に関する連絡先
ふれあいの店北橋店 **TEL.0279-52-2104**
ふれあいの店横野店 **TEL.0279-56-2023**
ふれあいの店しきしま店 **TEL.0279-56-2325**



J
A
お葬祭事業の
お知らせ

安心と信頼を
モットーに
真心をこめて
お手伝いします。

■ 指定店
・ギフトショップイノ・須田葬祭
・さいとう典礼

24時間受付対応電話番号
TEL 0279-52-2104
0279-56-2023
0279-56-2325

皆さんの夢、応援します
休日ローン相談会開催!!

お電話または
窓口にて
ご予約受付中

住宅新築・借換・
リフォームローンや、
マイカーローン、
教育ローンなど、
様々な資金のご相談を
承っております。

JA職員が、ご相談にお答えします。
お気軽にご来場・ご相談ください。

お問い合わせ先
JA赤城たちばな [金融課] 0279-25-8808

開催日 3月22日(日) 開催時間 AM9:00~PM3:00

開催場所 JA赤城たちばな 本所(横野支所)

主な協議事項

- 平成26年度決算方針決定の件
- 平成28年度職員採用方針決定の件
- コンプライアンス・マニュアルの変更の件
- 平成27年度内部監査計画承認の件
- 群馬県常例検査結果に対する改善状況報告の決定の件

理事会だより(1月30日)



横野加工トマト組合としきしま加工トマト組合は1月29日、アネーリ渋川(渋川市金井)で50周年記念式典を開きました。両組合員やJAの役職員、日本デルモンテ株やJA全農ぐんまら関係者37人が参加し、長年の活動に対しお祝いしました。この式典内で両組合は、一つの組合になることを合意。今年、また新たな歴史がスタートします。

加工トマト組合
設立50周年を祝う

第42回群馬用水地域利水改善グランプリ



群馬用水を 農業に活用

体験発表と表彰式

地域農業を発展したいと話す森田さん

第42回群馬用水地域利水改善グランプリ体験発表・各種表彰式及び講演会が2月3日、前橋市の群馬建設会館で開かれました。北橘町上箱田の森田幸道さんが「露地野菜を中心とした農業経営」と題し、体験発表をしました。森田さんは群馬用水を利用し、ネギやブロッコリー、ホウレンソウや水稻など計110㌶栽培しています。「安心・安全・高品質な野菜を安定的に供給し、消費者のニーズに応えられるよう栽培技術を高めたい」と更なる目標を掲げました。

北橘町上箱田の石田袈裟仁郎さんは、長年にわたり安定した生産や経営をし、地域農業の牽引役であるとして、優良農家の部で表彰されました。

その他の入賞者は次の通りです。

秋冬ネギ共励会の部

【優秀賞】

萩原伸一さん(箱田)

【優良賞】

藤川三雄さん(持柏木)
高梨昌直さん(箱田)

春のクミアイガス器具キャンペーン



お電話お待ちしております!!

ビルトインコンロ S-Blink Revor



ダブル高火力 親水性アクアコート グリル着脱式サイドカバー
ワイドオートグリル 調理タイマーあり 温度調節機能あり

75cm幅 N3WM4PWASKSTE 希望小売価格 ¥232,200(税込)

121,000円

60cm幅 N3WM3PWASKSTE 希望小売価格 ¥226,800(税込)

118,000円

H-coat Top

テーブルコンロ
NLW2261TQ2SG(L/R)



無水両面焼きグリル 炊飯機能あり 温度調節機能あり 調理タイマーあり

希望小売価格 ¥68,904(税込)

38,000円

※工事費は別途となります。

JA赤城たちばな 経済福祉課

渋川市北橘町真壁1386-1

TEL:0279-52-2104 FAX:0279-52-2908

日ごろの取り組みに栄冠 愛賞おめでとうございます

● 第18回群馬県きのこ品評会
生じたけ部門

【群馬県知事賞】
森田かよ子さん(上箱田)

【全農ぐんま賞】
森田克己さん(上箱田)

【品評会長賞】
森田紋子さん(上箱田)

萩原清巳さん(下小室)

森田桜來さん(上箱田)

星野愛子さん(小室)

星野正樹さん(小室)

森田富雄さん(上箱田)



受賞した下田さんのキイチゴ(中央)と北橘花卉園芸組合の役員

おれおれ詐欺を未然に防止したとして、北橘支所の川原田よしみさんが1月15日に、渋川警察署長から感謝状を贈られました。

川原田さんは昨年12月26日、窓口で500万円の定期貯金を

解約しようとした男性の対応をした際、不審な点があつたため

上司に相談。その後警察署に通報した結果、おれおれ詐欺だつ

たことがわかりました。

川原田さんは「お客様が被害に合わなくて良かった。日頃の

訓練が役立つた」と話しています。

おれおれ詐欺を防止 川原田さんに感謝状



● 第32回群馬県いちご品評会
県育成品種の部「やよいひめ」

【銀賞】
大畠篤司さん(樽)



● 第31回群馬県いちご立毛共進会
【銀賞】
大畠篤司さん(樽)



受賞した萩原さん、森田さん、星野さん(左から)



感謝状を受け取る川原田さん

読者

俳句

吉岡好江選

白銀の峰に輝ける初赤城
籠鳴きに竹藪揺れる一つ所

吉田 春江

石田袈裟男

初鏡亡母より生きし顔に合ふ

高橋かづ江

評 初鏡は、新年初めて鏡に向かうこと。初鏡の自身をみつめ、来し方に重ねるお亡母さんへの思いは深い。

妻は喜寿われは傘寿の屠蘇を酌む

石田千之輔

評 中国が起源の屠蘇は邪気を祓い、無病息災を願い飲む薬酒。現在は祝い酒として正月を屠蘇で祝うようです。屠蘇を交し新年もまた俳句に親しみ御夫婦が穏やかな日々でありますように。

冬の雲子ら円心に深呼吸

諸田 夏江

評 子どもたちを円の中心に体操し、大きく息を吸つて深呼吸。見上げる青天の空に浮かぶ冬の雲は美しい。

今朝初音去年の日記めぐりみる

齋藤 梢保

卒寿祝ぐようすに柚子湯をあふれさす

角田タケ子

鍬と鎌念入りに砥ぎ春を待つ

角田美枝子

人真似のうまい小猿を回しけり

兵藤 徳香

またひとつ齡重ねて若菜摘む

諸田 広子

春の初め華やかなりし祝い能

岩崎 恵子

新玉のことさら美しき墨のいろ

選者詠

あなたの俳句 お待ちしております。

[投句の記載事項]

俳句(漢字にはフリガナをつけ、楷書で記入)
郵便番号／住所／氏名(俳号併記)／年齢／電話番号

[投句方法]

- ・最寄りの支所窓口へ
- ・FAX:(0279)56-4152
- ・e-mail:tsubasa@jaat.jagunma.net
- ・郵送:〒379-1124 渋川市赤城町滝沢64-2

[投句先]

JJA赤城たちばな 企画管理課

[締め切り]

平成27年4月5日

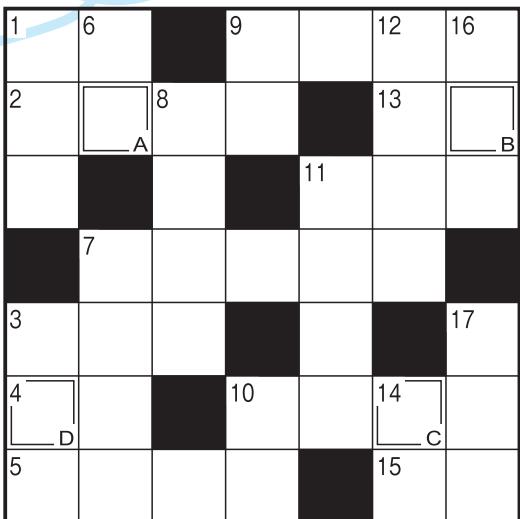
みなさん、
ご応募
ください。

コトナリ

■14■

【クロスワード】

二重枠に入った文字を、A→Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



今回の出題は、クロスワードパズルです。正解者には抽選で粗品を進呈しますので、皆さん振るってご応募ください。

[応募要項]

はがき(私製も可)に、答えと住所、氏名、年齢、職業、TEL、ご意見等をご記入のうえ、JA各支所または、企画管理課までお送りください。

e-mail・FAXでもご応募できます。

e-mail tsubasa@jaat.jagunma.net

FAX:(0279)56-4152

[締め切り] 平成27年4月10日

【はがきの記入例】

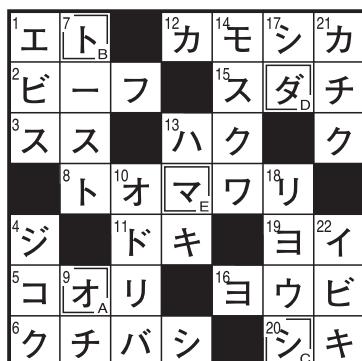
1. 答え	379-1124
2. 住所 氏名 年齢 職業 電話番号	渋川市赤城町滝沢 六四一二
JA赤城たちばな	企画管理課行
3. ご意見等	



【前号の解答】

クロスワードの答え

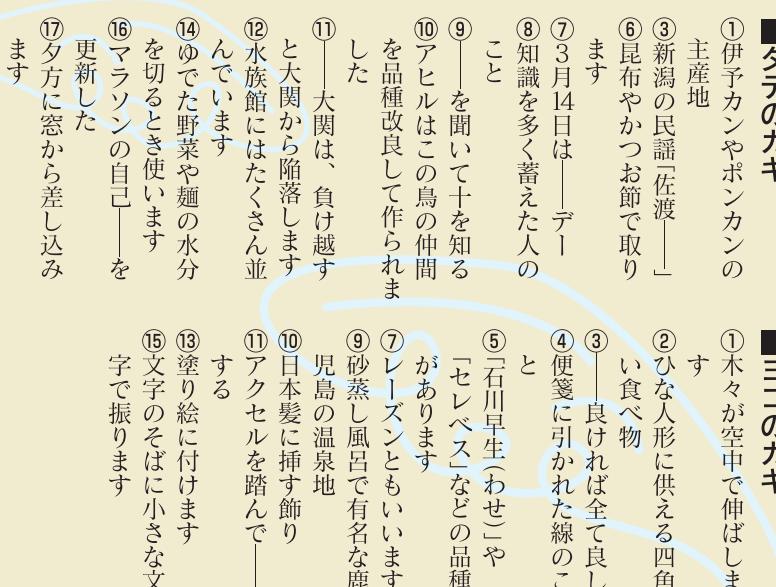
オ T O S I D A M A
A B C D E



■当選者(応募数35通)

木暮元子さん 北橘町下箱田
諸田広子さん 赤城町滝沢
原田かつさん 赤城町樽
須田フサ子さん 赤城町深山
生方しめさん 赤城町深山

ありがとうございました。



いざ秋の畑のはじまり群雲の
湧き立つ高み白き雲ゆく
腰まで浸り糸垂れる人
津久井 都

通院の車窓より見る利根川の
タヌスのごとく心も空っぽ
だんご虫巣くふ一日の命
木暮登美子

次々と遺品片付け空になる
タヌスのごとく心も空っぽ
だんご虫巣くふ一日の命
木暮登美子

朝ひらき夕べに萎むキヌガサタケ
だんご虫巣くふ一日の命
狩野千代子

花嫁のドレス姿を思わせて
絹傘茸は嫋やかに生う
狩野千代子

朝暑なる今年の夏は耐えがたく
朝茶を飲めば汗のふき出す
茂木 初江

萩の花色褪せて散る門先に
送り日のワラ灰黒く残れり
津久井ケイ

酷暑なる今年の夏は耐えがたく
朝茶を飲めば汗のふき出す
茂木 初江

萩の花色褪せて散る門先に
送り日のワラ灰黒く残れり
津久井ケイ

高貴高齢と励まし嬉しひたすらに
九十四才の道短歌と歩む
都丸 光代

高貴高齢と励まし嬉しひたすらに
九十四才の道短歌と歩む
都丸 光代

どこまでも続く命と思はねど
無心ならざる己を諭す
池田 いね

短歌

選者:狩野克幸

選者詠



祝 成人式 管内199人が 新成人に

平成27年渋川市成人式が1月11日、渋川市民会館で開かれ、706人の新成人が出席しました。

今年成人を迎えた人は市全体で848人(うち赤城地区106人、北橘地区93人)。当時の中学校卒業生の人数831人を用

いた「Leap jump 831」渋川から世界へ翔ばたけ若者々をテーマに晴れやかに執り行われました。新成人代表による「成人の誓い」では「未来の日本に刺激を与える、新たな未来を切り開いていく」と力強く語りました。

阿久津貞司市長は式辞で「社会人として感謝の気持ちを忘れず、未来に翔ばたいてほしい」と激励しました。

色鮮やかな晴れ着を着た新成人たちは、旧友との再会を喜びながら、社会人としての自覚と未来への希望を胸にしていました。



花桃が順調に出荷 ひな祭りに 彩り添える

北橘花卉(かき)園芸組合の15人が生産する花桃が、1月下旬から2月下旬に出荷されました。

種類は矢口桃。濃い桃色が特徴の八重咲きの花で、ひな祭り用の早生品種です。今年は、花芽の付きも良く順調な出荷となりました。

花桃はつぼみが硬いうちに枝を切れます。開花を促すため22度に保たれた温室に入れ、約8日間つぼみが膨らむのを待ちます。その後予備室で低温に慣らして、市場に出荷します。

生産者らは、ベストな状態で消費者に届くよう出荷のタイミングを見極め、作業していました。

共同ハウスの中は春の彩り

